

民間レベルでNPOや市民グループの評価・認証を行う全国初の組織「社会的認証開発推進機構」(京都市下京区)がこのほど設立された。「認証によって『社会的信頼』を提供し、市民が市民活動を支援しやすくしたい」という。

市民活動信頼を「認証」

民間のNPO評価組織誕生



設立記念シンポジウム

設立記念シンポジウムのチラシを手に参加を呼び掛ける平尾事務局長(京都市下京区・社会的認証開発推進機構)

市民がNPOなどの設立された。市民の寄付を募る「京都地域創造基金」も協力した。項目を調べ、審査会で決定する。認証された団体は、評価結果などと同機関のホームページで公開。機構は、今年2月に一般財団法人として同機構が「不特定多数に利益を

「経営管理は適切か」など50項目を調べ、審査会で決定する。認証された団体は、評価結果などと同機関のホームページで公開。機構は、今年2月に一般財団法人として同機構が「不特定多数に利益を

京都発、「支え合い」の仕組み 基金助成へ道づくり

な助成制度を認証団体に紹介、仲介する予定。

認証期間は2年で、認証料約5万円が必要。「京都地域創造基金」から助成を受けるためには同機関の認証が必要となる。平尾剛之事務局長(45)は「信頼を保証し、市民が互いに支え合う京都発のシステムとして広めていきたい」と話している。

9日午後1時半から池坊短期大(下京区)で設立記念シンポジウムを開く。独立行政法人「大学評価・学位授与機構」評価研究部の田中弥生准教授が基調講演する。無料。申し込みや問い合わせは同機構075(342)0205。

(逸見祐介)